

四月からの学校生活

一月九日（火）に始業式がありました。始業式では校長先生から、これからの学校生活の心構えなどのお話がありました。みんな真剣に校長先生の話を聞いていました。始業式が終わった後に、二年生は基礎力診断テスト、三年生は冬休み明けから授業がありました。基礎力診断テストは冬休みに取り組んだ課題のテストだったのでしっかり勉強していれば点数が取れていたと思います。三年生は休み明けということもあり授業に集中できていない人が多いように思いました。

四月から一年生は二年生になり、コースが分かれたり選択授業が増えたりと一年生の時とは違うことが増えていきます。二年生は最高学年となり進路のことについてたくさん考えていくようになります。三年生は卒業し、自分の進学先、就職先で新しい環境に戸惑うこともあると思います。それぞれ大変なこともありますが、思いながらも、今年も一年間素晴らしい年になるように頑張ります。



食品システム科課題研究発表会

1月12日の午後に、食品システム科の課題研究発表会を行いました。

3年生が自分たちで課題を決め、1年間研究を続けてきた成果を発表しました。食品科学コースからは5組、生産流通コースからは9組の発表がありました。来年度の参考になるように食品システム科の2年生が発表を聞きました。

発表者は大きな声で堂々と自分の学んだことについての発表ができていました。2年生も静かに真剣な様子で発表を聞いていました。

校内のプロジェクト発表会が1月18日（木）にあり、食品システム科の代表として6組が選ばれました。この発表会には、鳥取短期大学、鳥取県立農業大学校、進路先の会社の方が来られて生徒の発表を聞かれました。

1月中に他の科の3年生の発表も行われる予定です。



就職者対象

早期離職防止セミナー

一月十二日（金）三年生の就職者対象早期離職防止セミナーが行われました。セミナーの内容は、社会人になってからの働くときの基礎知識やルール、消費者講座を特定社会保険労務者と中国労働金庫鳥取支店と鳥取県中小企業労働相談所から来ら話を聞きました。中学、高校、大学の卒業後、就職して三年以内に会社を辞めてしまう割合は、それぞれ非常に高くなっていて、その結果、就学、就労、職業訓練のいずれも行っていない若者の存在が社会問題になっていく事を学びました。働くときのルールやマナー、制度をセミナーに参加して初めて見聞きすることが多く、知ることが出来て良かったです。働いていて疑問点や悩みが出てきた時は、セミナーで学んだことを参考にして問題を解決をはかり働いていきたいです。

